

令和3年6月17日

さいたま市長 清水 勇人 様

一般社団法人さいたま市私立幼稚園協会 会長 松尾 創  
一般社団法人さいたま市私立保育園協会 会長 大野 智子  
NPO 法人さいたま市ナーサリールーム保育連絡会 会長 西館 英子  
さいたま市保育園連絡会 会長 大熊 孝治

### 要 望 書

日頃より幼児教育・保育施設に対してご尽力を賜り、御礼申し上げます。

さらには、新型コロナウイルス感染症対策のための事業においても特段のご配慮を頂き心より感謝いたします。

私どもは、コロナ禍におきましても、教育・保育ニーズの受け皿としての機能はもとより、国からの要請により、医療従事者や社会機能を維持するために就業を継続することが必要な人達や、ひとり親家庭などで仕事を休むことが困難な保護者の子どもの保育にも尽力するなど、昨年4月の緊急事態宣言から今日まで、懸命に開園を続け地域医療の崩壊を防ぐため、また社会機能の維持に努めてまいりました。

ご承知のとおり、幼児教育・保育施設におきましては、子どもを集団かつ密接して教育・保育する施設であるため、3密を避けることは難しい環境にあり、園児、従事者ともに十分な予防策を講じる必要があります。

特に最近では、変異種株の発生とともに従事者や園児への感染が増加し、当施設における集団感染が全国各地でみられるようになり、市内においても、保護者や従事者、園児の感染により臨時休園や登園の自粛要請となる施設が増えている状況です。

そうした状況において、この度開始された新型コロナウイルスワクチン接種には、私どもとしても大きな期待を寄せております。

また、幼児教育・保育施設従事者における感染発生を防ぐことが医療体制の負担を軽減し、医療崩壊を防ぐことにもつながるものと考えます。

さらに、「高齢者・基礎疾患を有する者」に加え、幼児教育・保育施設従事者の優先接種を決定している自治体もあります。先般、6月10日には、埼玉県知事が高齢者の次に基礎疾患のある方に加えて、エッセンシャルワーカーへの優先接種について、8月を目途に本格化させることを発表しているところです。

つきましては、すべての幼児教育・保育施設従事者をワクチン優先接種対象に位置づけ、エッセンシャルワーカーとして安心して子供たちのために向き合うことができるよう、その環境整備のため、ご支援を賜りますようお願いいたします。